

令和04年度 子ども体験学習プログラム
『第5回 地域除雪支援活動』

実施要綱

- 1 主催 〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条7丁目2番25-301号 日本SNS推進機構 方
info@japansns.net <https://www.japansns.net> TEL 011-824-7088
札幌丘珠ソーシャルネットワーク研究会 会長 駒嶺 優子
- 2 活動日時 令和05年01月22日(日) 午後13:00 ~ 17:00 活動規定時間4時間以上
令和05年02月12日(日) 午後13:00 ~ 17:00 活動規定時間4時間以上
 - ・ jアラート発出時：活動中は、即時活動中止後、避難行動に移行。
 - ・ 政府及び北海道より感染症拡大予防宣言発出時：延期あるいは中止予備日を2日間予定ください。 令和05年02月 日 / 02月 日
- 3 集合場所 札幌栄リトルシニア球団 屋内練習場前 一部指導員集合 10:30 参加者集合 12:30
活動日当日連絡先 - - (担当者名：)
開始オリエンテーション：集合場所 13:00 より → 各活動フィールドへ
終了オリエンテーション：集合場所 17:00 より ← 各活動フィールドから
- 4 参加予定 小学校5年生から高校生3年生まで 30名 参加者公募中 (R01.12.14 現在)
- 5 参加料 無 料
- 6 活動地域 札幌連合町内会自治区 札幌市東区 中沼地区・東苗穂10~14条近郊
(天候・町内会行政除雪により、活動場所は、変更される場合がございます。)
- 7 ボランティア活動と請負事業、ボランティア活動と就労の区別
当該活動は、参加者の意思にて、いつでもボランティア作業を中断放棄することが可能。
- 8 活動目的 限界集落化現象は、都市圏地域においても、その加速度を増しています。この現象は、地域要擁護世帯にとっては、地域扶助を受ける機会が減少し深刻です。一方、核家族化によって集合住宅(除雪作業のない住宅)に暮らす子どもたちは、除雪作業の大変さ、道具の安全な使い方、地域排雪マナー、そして、地域要擁護者世帯からの『助けて!』の声を知る機会すらありません。この活動は、子どもたちが除雪奉仕活動を体験学習することによって、『地域解決課題への気づき』『人に対する優しい心』を育むことを活動のねらいとしています。
A: 地域解決課題への気づき
子どもたちが、地域社会の一員として、限界集落化地域の課題や、子ども(自分)にもできる社会的役割に気づき、地域奉仕活動の一端を担うことで、子どもたちの自立心や社会性を育み、地域奉仕活動に『おごり』ではなく『誇り』を持たせることを活動のねらいとします。
(除雪作業の大変さや地域要擁護者の存在への気づき)
B : 私たちができる地域から共感される除雪奉仕活動とは?
子どもたちに、正しく安全な除雪道具の使い方や除雪の際の地域マナーを指導することをもって、安全な道具の使い方の重要性和プライバシーへの配慮の重要性に気づき、安全に無事に奉仕作業を完了させることが、地域の共感を伴う奉仕活動となる。という考え方を体感させたい。
C 参加者が、地域貢献活動への参加を通じて、地域社会の一員としての役割を考える
近年、各参加者(子ども)は、学校、家庭親族、塾以外では、面識のない多世代(大人)と会話する機会が、著しく減少しています。この活動は、そうした普段コミュニケーションを交わさない社会人との交流と、地域貢献活動を通じて、参加者に、地域・社会の一員として役割について、考える機会を促すことを目的としています。

留意事項：活動目的は、高齢者世帯・地域の福祉活動ではありません。青少年のための体験学習プログラムです。この点にご注意ください。また、本紙並びに参加者公募ポスター注意事項を必ずお読みいただき、ご指導にご協力ください。